



2021  
Happy New Year

## 新年のご挨拶

システナ健康保険組合  
理事長 国分 靖哲

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を憂いお見舞い申し上げます。

また、被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、日頃より当健康保険組合の事業運営につきまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、人々の健康だけでなく、経済や社会に甚大な影響を及ぼしています。健保組合におきましても保険料収入の減少などにより、財政悪化が懸念されています。

従来、健保組合を取り巻く環境は、少子高齢化の進行により厳しい状況が続いているところですが、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり始め、現役世代が負担する高齢者医療への納付金が急激に増加する「2022年危機」が間近に迫ってきております。これにより健保組合の存続が危ぶ

まれる事態も想定され、状況次第では解散する組合が増加するものと見られております。だれもが安心して医療を受けられる国民皆保険を堅持するためには、健保組合の存続は不可欠です。現役世代に偏った負担を是正し、人生100年時代の到来を見据えた全世代型の社会保障への転換が急務です。

昨年7月に閣議決定された「骨太方針2020」では、感染症対策と社会経済活動を両立させる「新たな日常」の実現に向けた方向性として、「デジタル化への集中投資」が掲げられました。医療分野等においては、マイナンバーカードを活用し、生涯を通じた個人の健康情報等を把握できるPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の拡充、オンライン資格確認等のための「保健医療データプラットフォーム」の本格運用などの項目が示され、ICT化が加速さ

れます。さらに、政府は今秋までに「デジタル庁」を新設する方針で、マイナンバーカードの普及促進やオンライン診療の恒久化が推進される見通しです。

当健康保険組合では、このような社会の方向性に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理・健康づくりを支える事業を推進してまいります。みなさまにおかれましては、ジェネリック医薬品のご利用や、人間ドックなどの健診事業をご活用し、ご自身とご家族の健康を守ることを通じて、医療費節減にご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年がみなさまにとって実り多き一年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

